

N-アシル-アロマトイック-L-アミノ酸アミドヒドロラーゼ

Cat. No. EXWM-4394

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 この酵素は動物に存在し、N-アシル化またはN-アセチル化されたアミノ酸（L-アスパラギン酸を除く）の加水分解に関与しています。これは、通常EC 3.5.1.14、N-アシル-脂肪族-L-アミノ酸アミドヒドロラーゼによって脱アセチル化されないNα-アセチル化された芳香族アミノ酸およびメルカプチュリック酸（N-アセチル-L-システインのS-共役体）を優先的に脱アセチル化します。この酵素はCo2+およびNi2+によって著しく活性化されます。一部の細菌アミノアシル化酵素は、EC 3.5.1.14およびEC 3.5.1.114の両方に□して基質特異性を示します。cf. EC 3.5.1.14、N-アシル-脂肪族-L-アミノ酸アミドヒドロラーゼおよびEC 3.5.1.15、アスパルタオシラーゼ。

別名 アミノアシラーゼ3; アミノアシラーゼIII; ACY3 (遺伝子名)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.5.1.114

反応 (1) N-アシル-芳香族-L-アミノ酸 + H2O = 芳香族-L-アミノ酸 + カルボキシレート; (2) N-アセチル-L-システイン-S-コンジュゲート + H2O = L-システイン-S-コンジュゲート + アセテート

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。